産前産後ケア　研修会　報告書

作成日：2019.2.25

報告書作成者：柴　睦美

イベント名	産前産後ケア　研修会
テーマ	産後のマイナートラブル～尿漏れ～
開催日時	2019(平成 31)年 2 月 24 日　　研修会 9：30～11：30　座談会 11：30～12：10
場所	ホノホノ南八幡
担当者	柴 睦美、奥田江美、野村春香

参加者：大人 14 名　子供 3 名(0 歳～2 歳)

＜研修会内容＞

産後のマイナートラブルである尿漏れについて、骨盤周辺金の解剖学、尿漏れの解剖・生理学について触れ、その後、日常生活上での注意点について学んだ。骨盤底筋のエクササイズでは、坐骨に触れながら呼吸と連動した骨盤の動きを確認し、吹き戻し笛を使用して腹部を意識的に使うセルフエクササイズの指導を行った。

＜座談会内容＞

各自、自己紹介やなぜこの会に参加したのか、産前産後ケアに興味を持ったきっかけなどを話し情報交換を行った。

また、現場での現状や今後どのようなことを学びたいかなどの意見交換をした。

＜反省点・改善策＞

①　運営

・スタッフの導線がうまく確保できなかった

　→次回以降、スタッフが回りやすい配置を考える

・レーザーポインター、模型の準備

　→忘れ物をしないように事前に準備する

・研修会当日の静岡市内で行われるイベントの確認

　→今回は静岡マラソンと重なってしまったため、交通規制があった。事前に確認し、参加者にお知らせしておく

・バインダー

　→机で行う勉強会でない限りは持ち物に「あると便利」と表記し持ってきてもらったほうが研修会を受けやすそう

②　研修会

・受講者間でも専門性に違いがあり、実技で動きがうまくできておらず、質問が多く飛び交った

　→対象者を意識した内容にするために、事前に詳細な職種を聞いておき、当日の内容を調整する

　→実技のバリエーションを増やし、動きがわかりにくい人への対応も考える

・実技で何を行うかがスタッフ間で明確でなかった

　→研修会前に一度スタッフ間で内容を確認する必要がある

＜今後の検討事項＞

・今後、一般向けで行う上で子連れママの参加が増えていくことが予想される。そのため、研修時間の短縮・託児スタッフの検討・託児スペースの確保を検討する必要がある。

・今回のような医療従事者対象の内容で研修会を行ってほしいとの意見が寄せられたので、（焼津や西部でも）今後も行っていきたい(助成対象外で)

・5 月の研修会の内容について、エコーを使用した研修会を予定していたが、一般向けではないのではないかとの意見あり。もう少し、わかりやすい内容への変更も検討

・著作権について理解し、SNS に乗せる写真の撮り方配布資料の資料について注意する

＜再確認事項＞

・助成対象での研修会に参加できる対象者はどこまでか。(子連れでなくてはだめなのか、未婚の女性や子育てを終えた世代はどうか)